活き活きと輝き、誇れるまちの今をあなたに届ける

広報湯前

https://www.town.yunomae.lg.jp/
［まちの情報誌ゆのまえ］

2
TheMonthly
Feb_2019
Vol.452

また一つ、親子の思い出――

熊本県広報協会合同特集
女子ハンドボール世界選手権

見たら絶対好きになる！

女子ハンドボール世界選手権大会

昨年12月4日に山鹿市で開催された女子ハンドボールアジア選手権「日本VSイラン」戦

24th IHF WOMEN'S HANDBALL WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019

今年11月30日～12月15日に県内5会場で開催される「2019女子ハンドボール世界選手権大会」。国内で開催される女子ハンドボールの世界選手権で、全試合が1つの県で行われるのは初めてのことです。

見たら絶対好きになる。ルールや見どころが分かるともっと好きになる。ハンドボールの魅力や大会情報をチェックして、一緒に大会を盛り上げましょう。

ハンドボールのここが見どころ！

「知れば知るほど好きになる」ハンドボールのルールや見どころを、ハンドボール経験者の森田さんとくまモンが教えます！

熊本国際スポーツ大会推進事務局
森田 勇（もりた いさむ）さん

くまモン
要チェックくま！

①コートに入れるのはゴールキーパー含む7人。本大会のベンチ入り可能人数は16人。

試合中、いつでも交代ができるので目が離せない！

②ボールを持ったら「3歩、3秒以内」に投げないと反則になります。

ボールが素早く飛び回るので、試合展開が速い！

③ボールの大きさはレタス程度。片手で持つことができます。

シュート速度は時速90キロを超えることも

④肉体がぶつかり合う激しいスポーツ。正面からの接触プレーはノーファール。

この迫力はぜひ試合会場で！

Interview

日本代表チームの要である永田選手（以下、永）と勝連選手（以下、勝）に突撃インタビュー！二人はオムロン（山鹿市）から代表入り。見どころや世界選手権に向けた意気込みを聞きました。

永田（ながた） しおり選手
福岡県出身。平成18年にオムロン加入。加入年の目標が「4冠」だったことから愛称はカン。平成23年、日本代表入り。攻撃・守備を切り開く影の立役者「ポスト」。

勝連（かつれん） 智恵（ちえ）選手
沖縄県出身。平成20年にオムロン加入。加入年が北京五輪であったことから愛称はオリ。平成24年、日本代表入り。ダイナミックなシュートが魅力の「左サイド」。

選手に突撃インタビュー

ハンドボールの見どころを教えてください

勝：攻守の切り替えがとても速いのが魅力の一つです。守備の場面では、相手のポストプレイヤーと競り合っているところが見どころですね。機動力があり、いつでも動いているバックプレイヤーに注目して、その後の展開を予想しながら見ると面白いですよ。

体の大きな外国の選手とどう戦っていきますか？

永：日本は細かい動きと機動力で外国人選手に立ち向かいます。スピードで守備を崩し、いかに隙を突いて得点に結びつけるかがポイントです。

世界選手権に向けての意気込みをお願いします

永：「優勝」と言いたいところですが、これまでの最高がベスト16なので、まずはベスト4が目標です。地元の声援を力に変えて、全力で目標に向かっていきたいです。

勝：東京五輪につながる大事な大会なので、より多くの熊本の皆さんにいいプレーを見せられたらと思います。

▲試合でシュートを打つ勝連選手

ハンドボールをこれから始める人に一言

永：とにかくハンドボールを楽しんでほしいです！

勝：走る、投げる、跳ぶといった全ての動作が詰まっている競技です。プレーを見た子どもたちに真似してもらえるよう、次の世代につながるように頑張りたいです。

チームの中心である二人。終始笑顔で語っていただきました。日本選手の皆さんの活躍から目が離せません！

ラグビーワールドカップ2019を熊本で2試合開催！

今年はラグビーの国際大会も熊本で開催。熊本を含めた日本の12都市が開催都市に選ばれています。

「4年に一度じゃない。一生に一度だ」。一緒に応援してラグビーも盛り上げましょう。

熊本県民総合運動公園陸上競技場で開催予定の試合

- 10月6日（日）午後4時45分～ フランス vs トンガ
- 10月13日（日）午後5時15分～ ウェールズ vs ウルグアイ

関わり方は人それぞれ。いろいろな方法で大会に参加しよう！

チケットをオフィシャルサイトで先行販売中！

●申込期間　2月3日（日）～6月20日（木）
●ホームページ　https://japanhandball2019.com/

大会運営・語学ボランティアスタッフ二次募集

ボランティアスタッフ二次募集を4月から開始予定です。
●問い合わせ　2019女子ハンドボール世界選手権大会 組織委員会事務局　☎096（333）2558

Hand in Hand（ハンドインハンド）

大会公式PRキャラクターのくまモンをデザインしたハンドボールが県庁をスタートし、国内、さらには海外のハンドボールフレンドなどを次々に結ぶ様子を紹介しています。毎月7のつく日に更新。ぜひご覧ください。

動画はこちら↑

湯前町消防団出初式・放水競技大会

4-3(馬場)落球最速でV

ポンプ車は2-1(上下染田)が3連覇

湯前町消防団出初式・放水競技大会は1月5日に湯前小学校一帯で開かれ、132人の団員が集結。放水競技では、自動車ポンプの部で第2分団第1部(上下染田)が3連覇を達成、小型ポンプの部では第4分団第3部(馬場)が優勝しました。

式典では故石原亮元消防団長への瑞宝単光章の伝達や団員の勤続永年表彰、各分団、湯前保育園、慈光こども園の通常点検が行われました。

放水競技はポンプ車の部に2チームが出場。11チームが出場した小型ポンプの部は、6連覇中の第4分団第1部(上村)が現着、出水でトップとなるものの、第4分団第3部が最速で落球し、総合タイムで上回りました。2位は第2分団第4部(下城)で、本町から3チームが1月11日に多良木町で開かれた上球磨消防団連合放水競技大会に出場。

6連覇の4−1(上村)を上回り、上消連に出場した4−3(馬場)

管内3町村の代表3チームが出場したポンプ車の部で第2分団第1部が2位、4町村の代表8チームが出場した小型ポンプ車の部では、第4分団第3部が4位、第2分団第4部が6位となりました。

〈放水競技〉

▼自動車ポンプの部
①第2分団第1部(上下染田)

▼小型ポンプの部
①第4分団第3部(馬場)
②第2分団第4部(下城)
③第4分団第1部(上村)

〈年間総合成績〉

①第2分団第1部(上下染田)
②第4分団第3部(馬場)
③第2分団第4部(下城)

〈瑞宝単光章〉

○石原　亮元団長

〈熊本県永年勤続功労章〉

※勤続25年以上
○落合　智分団長(本部)
○渕田　賢一団員(1-1)
○中礼　雄一団員(1-1)
○小柳　秀和団員(3-3)
○高木　哲郎団員(4-1)
○谷口　晋一団員(4-1)
○野口　昌俊団員(4-1)
○那須　貴紀団員(4-1)

❶大きな声で防火の誓いをする園児❷素早く、きれいにホースを伸ばす❸強い水圧に負けないようしっかりと支えて狙い撃つ選手(下城)

スタートから全速力で駆け抜ける2-1(上下染田)の選手たち。上消連でも2位の成績を収めた

〈熊本県消防協会功績章〉

※勤続20年以上
○福田　俊博団員(4-1)
○村上　秀生部長(4-2)
○福屋　博樹班長(4-2)
○中神　正　班長(4-3)
○椎葉　暢　団員(1-1)
○椎葉　祐介部長(3-2)
○大谷　友和班長(3-3)
○財部　亮太団員(3-3)
○椎葉　正博団員(4-1)

〈町長表彰〉

○第2分団第1部
※全国消防操法大会出場

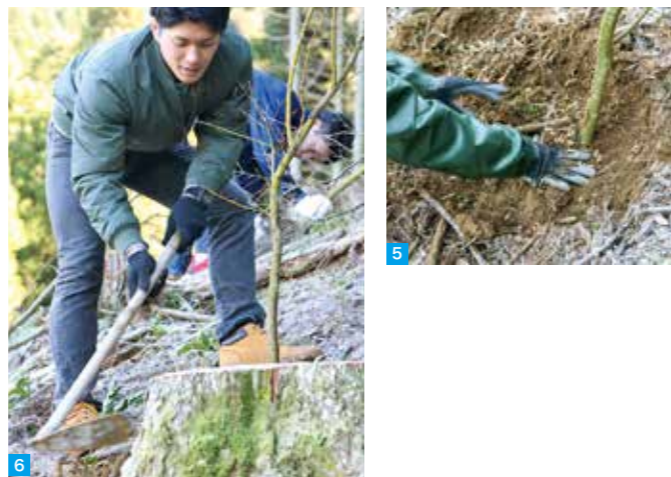
〈初期消火感謝状〉

○赤池　宗一郎

〈上消連放水競技〉

▼自動車ポンプの部
①水上村
②湯前町(2-1)
③多良木町

▼小型ポンプの部
①水上村
②③あさぎり町
④湯前町(4-3)
⑥〃(2-4)

第69回成人式
ふるさとに思い出刻む

1久しぶりの再会を喜ぶ成人者たち2多くの人がスマホで記念撮影3霜の降りる斜面を元気に駆け上る4ぜんざいの振舞いを受け取る新成人5手で土を硬めて、しっかりと苗木を植え付ける6腰を入れて、土を耕す7協力しながら笑顔でイロハモミジの苗木を植える二人8成人の誓いを述べた多田さん

第69回湯前町成人式は1月4日、宝陀寺駐車場一帯で開かれ、町内外に進学・就職した新成人37人が植林で仲間や地域の人との思い出を心に刻みました。

本年度の新成人は平成10年4月2日から平成11年4月1日生まれで、本町出身・在住の45人が対象。新成人たちは前日、レールウイングのウッドデッキに集まり、振袖・スーツ姿で記念撮影。その姿とは打って変わり、スニーカーにジャージ姿で集まりました。

式典には120人が出席。中学生時代の恩師や区長、青年団長、地域婦人会長、住民らが新成人を温かく歓迎しました。代表者の多田恵太さん（20＝馬場）が「社会人としての義務と権利を与えられたのも、育ててくれた両親や地域の皆さんのおかげ。いかなる時も自分を見失わず、明るく正しい社会人として頑張っていきたい」と答辞、金子紗也佳さん（20＝下染田）が大きな声で交通安全を宣言しました。

記念植林は駐車場となりの町有林で行われました。今回は、宝陀寺の景観をよくしようと、イロハモミジ150本を用意。新成人たちは霜が降りた山の斜面を元気よく駆け上がり、クワで土を掘って1㍍ほどの大きな苗木をしっかりと植えました。

植林中は旧友や地域の人との会話もはずみ、終始笑顔があふれていました。植林後はゆのまえ温泉「湯楽里」のスタッフが振る舞う、ぜんざいで体を温めました。新成人全員に、町から地元の球磨焼酎が、地域婦人会からは湯楽里の入浴券が贈られました。

■成人の声

兼田 遼一さん（20=上里２）
福岡の洋菓子店に就職します。やってきたことをこつこつと継続して、仕事を頑張りたいです。

伊藤 浩之さん（20=野中田1）
久しぶりにみんなに会いました。素の自分が出せる場所で楽しかったです。

赤池 宏斗さん（20=瀬戸口）
仕事を頑張って立派な社会人になりたいです。

Hotopi

ホットピ

ホットなわだいをあなたへ

4手を取り合って、フォークダンスを楽しむ参加者5昼食にはおいしいショートケーキも並んだ6ふとした合間にこぼれる笑顔

No.1

子ども議会

まちづくりに関心を

子ども議会が12月20日に湯前町役場の議場で開かれ、湯前中学校（古家慎也（しんや）校長）の3年生38人が子ども議員として、町執行部にまちづくりへの質問や提案を投げかけました。

子どもの政治の関心を深め、町の未来について考える機会をつくろうと昨年初めて議会、執行部、湯前中が連携して取り組み、今回で2回目。11月に同校で事前学習会が開かれ、生徒たちは現職の議員から質問の仕方などを習って本番に挑みました。

議長を務める倉本豊（ゆたか）議長が「昨年の質問が実現につながっているものもある。それぞれの目線で考えていることなどを、自分が分かるまで遠慮せず質問してほしい」、鶴田正已町長が「皆さんの質問に対して一生懸命答えることができれば」とあいさつ。

傍聴席で議員や保護者、教師らが見守る中、生徒は6班に分かれ①少子化対策②観光③住環境④産業振興⑤教育⑥高齢化対策について、順番に質問しました。

生徒は「高校卒業まで医療費を無料にしては」「インスタ映えスポットをつくっては」「町営住宅の改築、修繕をしては」「中学校のトイレを改修してほしい」「SNS※を使って災害情報を伝えてはどうか」など具体的な意見や提案を声に出して伝えました。鶴田町長ら執行部は具体的な数字や方針を示しながら、分かりやすく生徒たちに答えていきました。

少子化対策の班として質問をした、財部ひなきさん（同校3年＝野中田3）は「質問するのは緊張した。事前に県内の状況を調べて挑んだ。議員の皆さんの大変さが分かった」と話しました。

まっすぐに手を挙げて堂々と質問をした生徒

※SNS…ソーシャルネットワーキングサービス

1レクリエーションを楽しみ、心の交流を深めた参加者2美しい弦楽器と参加者の鈴が鳴り響いた「アンサンブル楓」の合奏3サンタやトナカイのイラストを張り付けてオリジナルの帽子を作成

No.2

あゆみの会クリスマス

心交わしてきずな深める

ボランティアグループ「あゆみの会」（地内豊子（とよこ）代表）のクリスマス会が12月23日に農村環境改善センターで開かれ、郡市内の障がい者支援施設の利用者や人吉球磨精神保健福祉ボランティア「麦の会」、地域住民ら約100人がレクリエーションや食事を楽しみ、心の交流を深めました。

知的・身体・精神障がい者とその家族、地域住民がきずなを深めることで、ともに地域を支えようと毎年7月に七夕祭り、12月にクリスマス会を開催。クリスマス会は24回目。開会式では、会長の地内さんが「みんなに会えるのをとても楽しみにしていた。今日はゆっくり楽しく、いっぱい言葉を交わして、手を握り合って一日を過ごしてほしい」とあいさつしました。

「ゆのまえ読み聞かせ なずなの会」がクリスマスについての絵本を読み聞かせ、「アンサンブル楓」がバイオリンなどの弦楽器でクリスマスにちなんだ曲を披露。参加者も鈴を手にして、一緒に演奏しました。

レクリエーションでは、アコーディオンの演奏に合わせた「じゃんけん列車」を楽しみ、フォークダンスでクリスマスツリーを囲むなど笑顔で交流。昼食には、ボランティアが真心を込めて作ったカレーライスと、ショートケーキが用意され、参加者はおいしそうに食べていました。

午後からはキャンドルサービスやプレゼント交換をして、手話ソング「約束しよう」で再開を願いました。

歌声とともに手話も披露

第7回公認奥球磨ロードレース

太田黒、上田両選手が凱旋

中学男子2位に落合選手

町民の声援を受けながら力走する太田黒選手(右)と上田選手(左)

第7回公認奥球磨ロードレース大会は1月20日、水上中学校をスタート、水上村役場をフィニッシュとするコースで開かれ、ハーフマラソン一般男女や高校生男子10キロ、女子フリー5キロ、中学男女5キロの6部門に446人が出場。太田黒卓選手（上武大4年＝植木）や上田結也選手（創価大3年＝野中田1）の招待選手をはじめ、本町出身の選手も各部門で力走。中学男子では、落合諒選手（湯前中2年＝中猪）が16分18秒で2位となりました。

大会は湯前町、多良木町、水上村、熊本県陸上競技協会が主催。午前9時20分に中学男子がスタートし、女子フリー・中学女子、ハーフ、高校男子の順で競技が行われました。

ハーフ男子には6年連続での出場となる川内優輝選手（市民ランナー選抜）をはじめ、実業団や大学生などの招待選手27人を含む93人が出場。レースは序盤から3人の外国人選手が先頭を争う展開に。昨年優勝したカレミ・ズク選手（トヨタ自動車九州）が1時間01分21秒のタイムでフィニッシュし、自身の大会記録を27秒更新しました。

二人の外国人選手に続き、第2回大会で優勝した押川裕貴選手（トヨタ自動車九州）が1時間03分13秒で日本人トップとなる3位、5秒遅れて、多良木町出身の西智也選手（小森コーポレーション）が4位につけました。

3年連続で箱根駅伝に出場した太田黒選手は39位でフィニッシュ。上田選手は足の故障により、残り約1キロで無念のリタイヤとなりました。

ハーフ女子では、松田杏奈選手（京セラ）が1時間13分10秒で優勝。上位3人の合計タイムで競われた団体の部では、ハーフ男子でトヨタ自動車九州が1位、2位は市民ランナー選抜、同女子は日本体育大学が1位となりました。

当日は雨が降る中、沿道には多くの観客が駆けつけて選手を応援しました。閉会式では各種目の表彰が行われ、鶴田正己町長が「素晴らしい大会になった。冷たい雨の中、熱い走りで地域の人も一緒に盛り上がることができた。来年も皆さんの雄姿をぜひ見せていただきたい」と講評。中学男子の部で好成績を収めた落合選手は「16分を切ることと、先頭の相良中の選手にできるだけついていくことを目標にした。ラスト1キロでスパートをかけて3位の選手をかわした。後半疲労が足にきてしまい、目標タイムを切れなかったことが悔しい」と話していました。

2年生ながら、中学男子5キロで2位の好成績を収めた落合選手

各部門で本町のランナーたちが町内を走り抜けた（左：山崎隼汰選手）

本町出身招待選手の声

太田黒　卓選手（上武大4年＝植木）

ハーフ男子 39 位
1時間06分46秒

1時間4～5分台を目標に、最初から最後まで、自分のペースで行こうと思いましたが、入りのペースが速く、練習不足もあって10キロの折り返しからペースが落ちました。沿道からは「太田黒頑張れ」「箱根駅伝見たよ」などと住民の皆さんや同級生から声をかけてもらい、とても力になりました。

上田　結也選手（創価大3年＝野中田1）
※左から2番目

ハーフ男子

前半はいい位置でレースを進めることができましたが、折り返してから足を痛めてしまいました。沿道からたくさんの声援が聞こえて力になりました。来年の箱根駅伝を見据え、（2月17日に行われる）熊日30キロロードレースでは、初参加となりますが、どうにかトップ選手に食らいつき、自分の力を試したいと思います。

❶九州の強豪校が一斉に通過（高校男子）❷前へ進もうと強い思いが表情に表れる❸自身が持つ大会記録を更新し、２年連続で優勝したカレミ・ズク選手❹明導寺前の折り返し、ハーフの先頭集団は息の詰まる熱戦❺雨に負けず走り続ける湯前中の選手❻序盤からペースを上げ、ハーフ女子を制した松田選手❼子どもたちも旗を持って元気に応援

〈競技結果〉

▼**ハーフ男子**

①カレミ・ズク（トヨタ自動車九州）　1時間01分21秒
②ジョエル・ムァウラ（黒崎播磨）　1時間02分40秒
③押川　裕貴（トヨタ自動車九州）　1時間03分13秒
④西　智也（小森コーポレーション＝多良木町出身）
⑤久我　和弥（富士通）
⑥住田　優範（愛知製鋼）
⑦林　竜之介（SGホールディングス）
⑧田上　建（東洋大）
㊴太田黒　卓（上武大＝植木）

▼**ハーフ女子**

①松田　杏奈（京セラ）　1時間13分10秒
②坪倉　琴美（ワコール）　1時間13分27秒
③齋藤　真希（肥後銀行）　1時間14分46秒
④鈴木　彩智歩（日体大）
⑤平野　文珠（日体大）
⑥塩崎　葵（名城大）
⑦鴨志田　海来（名城大）
⑧川上　さくら（ノーリツ）

▼**高校男子・10キロ**

①キムンゲ・サイモン（東海大福岡）↘　29分48秒
②今村　真路（九州学院）　30分18秒
③川添　翔太（東海大福岡）　30分21秒
④端羽　星（九州学院）
⑤古川　隼（千原台）
⑥吉冨　純也（大牟田）
⑦甲斐　治輝（宮崎日大）
⑧曳田　道斗（宮崎日大）
⑮⑥中田　光（球磨工業）
⑯②山崎隼汰（球磨工業）

▼**女子フリー・5キロ**

①原賀　藍実（信愛）　16分38秒
②堤　好伽（有明）　16分40秒
③今脇　智花（信愛）　16分42秒
④小代﨑　陽向子（国分中央）
⑤川野　朱莉（ルーテル）
⑥吉田　麗羅（活水女子大）
⑦軸屋　七海（活水女子大）
⑧長沼　優香（信愛）

▼**中学男子・5キロ**

①永井　駿（相良）　15分53秒
②落合　諒（湯前）↖　**16分18秒**
③田尻　大遥（不知火）　16分21秒
④才畑　智貴（人吉第二）
⑤水野　龍吾（財光寺）
⑥高田　眞朋（人吉第二）
⑦鍬本　健太（人吉第二）
⑧浦上　和樹（不知火）
⑬福屋　渉（湯前）
㊳浜崎　魁世（湯前）
㊶北崎　雄一郎（湯前）
㊸中村　孔亮（湯前）
㊼中田　優輝（湯前）

▼**中学女子・5キロ**

①福盛　穂花（山鹿）　17分45秒
②緒方　咲花（山鹿）　17分50秒
③田上　真（山鹿）　17分50秒
④寺井　彩花（人吉第二）
⑤新　真帆（人吉第二）
⑥田中　環和（不知火）
⑦黒木　友比奈（人吉第二）
⑧杉山　陽菜（山鹿）
㉗深水　帆乃華（湯前）
㉚椎葉　愛華（湯前）
㉟中田　有咲（湯前）
㊵庄籠　珠有（湯前）

〈**団体表彰**〉

▼**ハーフ男子**

①トヨタ自動車九州
②市民ランナー選抜
③SGホールディングス

▼**ハーフ女子**

①日体大
②名城大
③ノーリツ

▼**高校男子**

①東海大福岡
②九州学院
③宮崎日大

▼**女子フリー**

①信愛
②有明
③活水女子大

▼**中学男子**

①人吉第二
②不知火
③NRA

▼**中学女子**

①山鹿
②人吉第二
③帯山

湯前小5、6年生が発掘体験

地面に眠るお宝を発見！

湯前小学校（菅原浩子校長）の5、6年生65人が12月20日に下里の御大師堂敷地内で遺跡発掘体験を行いました。

1733年に描かれた球磨絵図に記され、お堂の石碑にも名前が刻まれる、江戸時代の「吉祥院」の痕跡を探ろうと、町が12月17日〜22日まで埋蔵文化財の調査を実施。体験は児童たちに町内の文化に興味を持ってほしいと行われました。

児童はスコップを使い、地面をはぐようにして掘り進めました。瓦やお椀の一部と思われる破片を見つけた児童は喜んで友だちや教師に見せていました。瓦のかけらを見つけた迫田和真さん（同校6年＝中里2）は「宝物を探しているみたいで楽しかった」と話していました。

宝探しのように真剣に掘り進める児童

村枝賢一・森真理漫画教室

漫画家の技を伝授

芦北町在住の漫画家、村枝賢一さん（仮面ライダーSPRITSなど）と妻で漫画家の森真理さん（銀のしっぽなど）のまんが教室が1月5日に下染田の空き家で開かれ、子どもから大人まで25人がプロの技を学びました。

町が借り上げた空き家を村枝さんのアトリエとして開放し、デジタル工作や親子料理体験なども開かれてきました。教室には郡市内や熊本市、遠くは東京都から参加がありました。

村枝さんが、キャラクターの顔や体の描き方、森さんが4コマ漫画の描き方を担当。村枝さんは「目の高さで大人と子どもを描き分ける」「前髪が難しいなら目から描く」など一人一人の絵を見ながら優しくアドバイスしていました。

ホワイトボードを使い、顔の描き方を説明する村枝さん

野球関係者がグラウンド整備

練習拠点を大切に

町内の野球関係者35人が1月13日に湯前町民グラウンドの整備を行いました。

普段使用しているグラウンドに感謝しようと行われ、湯前球友や郡民体育祭、実年野球チームの20代〜60代までが集合。町民グラウンド2面の整備やマウンド作りなどに約3時間汗を流しました。

昨年、西日本大会に県代表として出場した球友をはじめ、郡体チームは県民体育祭で準優勝、実年チームが県代表として九州大会に出場するなど目覚ましい活躍をみせる各チーム。実年チームの川﨑菊男監督（64=植木）は「町民グラウンドを練習拠点に、ことしも各年代のチームが活躍することで、湯前の名前を轟かせたい」と話していました。

3時間かけてグラウンドを整備した野球関係者ら

地域包括ケア講演会

つながりで支え合う

つながりやきずなの大切さを学ぶ参加者

「地域包括ケア住民向け講演会」が1月16日に湯前町保健センターで開かれ、湯前町、多良木町、水上村から住民120人が参加しました。

高齢になっても生き生きと活躍できる地域を目指し、つながりやきずなの大切さを考えてほしいと上球磨地域包括支援センターが主催し、上球磨3町村が後援。老人会や民生児童委員、福祉関係者、住民などが参加しました。

講演は、地域ケアプラン研究所・海の大石逸子代表が、高齢化や介護保険などの社会背景を交え、「買い物は脳トレであり筋トレ」「地域で暮らしている人にしかできない会話が認知症予防」などと楽しい地域づくりのコツを伝えました。

東海大学陸上教室

一流のトレーニングを学ぶ

同大で行うトレーニング方法を伝授した大学生たち

強豪選手と一緒にランニング

東海大学陸上競技部中・長距離ブロック（両角速監督）は1月19日に湯前町民グラウンドで陸上教室を開き、中・高校生約50人にトレーニングの方法を教えました。

一流選手とかかわることで地元の中高生たちに陸上への意欲を高めてほしいと奥球磨3町村、奥球磨ロードレース実行委員会が主催し、（公財）B＆G財団が後援。湯前中をはじめ郡市内の中学校や球磨工業高校、小林高校（宮崎県）の生徒が参加しました。

東海大はことし1月に行われた箱根駅伝で大会新記録を樹立し優勝。昨年は全日本大学で2位、出雲駅伝で3位と学生3大駅伝で好成績を収めた全国屈指の強豪校。小池翔太駅伝コーチをはじめ、森下史崇選手（同大4年＝九州学院出身）など九州出身の4選手が参加者に指導しました。

体操を済ませて、同大が行うトレーニングメニューを体験。二人組みでのストレッチや体幹を鍛えるトレーニングなど、効率よく走れる体づくりを目指して、汗を流しました。選手たちは「背筋が曲がりすぎないように」などと一人一人を見てアドバイスしました。

その後、参加者は5つのチームに分かれ、ミニ駅伝としてグラウンドの外周を使ってリレー。質疑応答の時間では「試合前に食べているものは何か」などと参加者が積極的に質問しました。深水帆乃華さん（湯前中1年＝瀬戸口）は「ミニ駅伝は今までやったことがなく、大学生と一緒に走ることができて楽しかった」と話していました。終了後はB＆G海洋センターのロビーでテーピング教室も開かれました。

Health
保健師だより

予防接種だけじゃない、「せきエチケット」「手洗い」
インフルエンザ警報レベル！

1月7日～13日、県内全域でインフルエンザが4703件に昇り、前の週から２倍以上に。人吉球磨の報告数は県内でも高くなっています。流行は、今後も続くこと予想されますので、警戒が必要です。もう一度、予防方法を確認しましょう。

①予防接種
ウイルス感染や発症そのものを完全に防ぐことはできませんが、重症化や発生を防ぐ効果があります。

②せきエチケット
インフルエンザは主にせきやくしゃみで出る小さな水滴（飛沫）によって感染します。エチケットを守りましょう。

・せきやくしゃみを他の人に向けてしない
・せきやくしゃみが出るときはマスクをする
・手のひらでせきやくしゃみを受け止めた時はすぐ手を洗う

③手洗い
流水や石けんによる手洗いはインフルエンザウイルスを物理的に除去します。20秒以上時間をかけて丁寧に洗いましょう。必要に応じてアルコール消毒も活用しましょう。

※インフルエンザにかかってしまった場合は、医師から指示された日数は外出を控えるようにしましょう

保健センター　野々原　亜紀

Books
読書のススメ

中央公民館図書室 ※貸出期間2週間/一人5冊まで
〇平日 午前8時30分～午後5時　〇土日・祭日 午前9時30分～午後5時
問教育委員会 TEL0966－43－2050

一瞬の尊さ、愛しさ
さざなみのよる
木皿 泉（著）　河出書房新社

小国ナスミ、享年43。その死は湖に落ちた雫の波紋のように家族や友人、知人へと広がり――。命のまばゆさを描く感動と祝福の物語。

幸せと不幸のわかれ道
ふしぎ駄菓子屋 銭天堂
廣嶋 玲子（著）　偕成社

駄菓子屋があった。路地の壁にはりつくような形の店で、まるで商店街から身を隠しているようだ。だが、店先には、色とりどりの菓子がならんでいるのが見える。真由美は首をかしげた。あんなところに、駄菓子屋さんなんてあったっけ？

非さわやか100％青春小説
彼女は頭が悪いから
姫野 カオルコ（著）　文藝春秋

横浜市郊外のごく普通の家庭で育ち、女子大に進学した神立美咲。渋谷区広尾の申し分のない環境で育ち、東京大学理科1類に進学した竹内つばさ。ふたりが出会い、ひと目で恋に落ちたはずだった。渦巻く人々の妬み、劣等感、格差意識。そして事件は起こった…。

くまモンが伝記に
くまモン（小学館版学習まんが）
熊本県くまモングループ（監修）　小学館

くまモンの活動を漫画で紹介。熊本地震発生後、くまモンの「こんな大変な時に、ゆるキャラは不謹慎」という葛藤から、「こんな大変な時だからこそ、しあわせ部長として、今こそ、みんなを元気づける」へと変わっていく変化を描く。

戸籍の窓

平成30年12月1日～12月31日

ご結婚おめでとう
小山　稜太郎（水俣市）
椎葉　真也子（下里）
犬飼　哲郎　（愛知県）
杉野　友美　（浅鹿野）
内村　大也　（多良木町）
髙木　詩織　（植木）
西本　真一　（熊本市）
坪田　綾香　（中猪）

ご冥福をお祈りします
中田　良房（野中田３）
谷口　英典（野中田１）
鶴田　義男（上里３）

香典返し
林田　良成　（下村）
椎葉　仁子　（水上村）
谷口　千代子（野中田１）
中田　登志子（野中田３）

ひとの動き

（12月末現在）
男性　1851人
女性　2101人
計　3952人
世帯数 1616戸

Dietary habits
管理栄養士だより

食事は１日３回､運動とセット
正月太りの解消法

年末年始の食べ過ぎや、寒さで運動量が減り体重が増えてしまった人も多いのではないでしょうか？ この機会に体重をリセットしましょう。

①食事の回数は減らさない
食事間隔が長くなると、食べた物がより吸収されやすくなります。1日に摂るエネルギーが同じときは、食事回数の少ない方が太りやすいです。少量ずつ､3食に分けて食べることをおすすめします。

②運動とセット
食べ物だけでは体重は減らしにくいので､運動を取り入れ､代謝をアップさせましょう。３０～４０分程度のウオーキングの習慣をつけると◎。

③果物は摂りすぎない
果物にはビタミンＣやカリウムなどのビタミン･ミネラルも豊富ですが､“果糖”という糖分も含まれているので気をつけましょう。（目安：1日にバナナ１本､りんご1/2個､みかん２個など）

管理栄養士　田中 朋子

Ecolog
ごみ情報

資源ごみ(衣類･雑誌･新聞･ダンボール)は、ひもで十文字に縛って出してください

人吉球磨では、資源ごみ（衣類･雑誌･新聞･ダンボール）を、ひもで十文字に縛って出さなければなりませんが、最近、ビニール袋に入れたものやガムテープでまとめたものが見られます。

ビニール袋に入れて出された新聞紙

紙製以外のものは取り除く

リングやプラスチック性のものは取り除く（そのまま出してあるルーズリーフノート）

ごみを通勤途中にある収集場所に捨てないで

車で通勤するとき、経路にある収集場所にごみを出す人がいます。決められた日以外に出すと、収集場所付近にごみが散乱し、管理・使用する人や近隣の人の迷惑になります。必ず指定の日、指定の場所に出してください。

※２月の不燃物収集は**6日、20日**です。（第１･３水曜日）

(kg)	11月分	12月分	昨年の12月分	
燃えるごみ	58,250	65,530	62,300	3,230
燃えないごみ	4,550	6,130	5,390	740
リサイクル品	11,500	14,060	16,210	-2,150
粗大ごみ	110	1,280		
有害ごみ	70	60		

2019 No.6

Community

婦人会だより

地域婦人会
会長 橋田 實子

インフルエンザの流行の時期になりました。風邪かなと思ったら、マスク、手洗い、うがいをしましょう。

11月30日（金） 農芸学院誕生会
湯前校区から３人出席。一緒に輪になって軽い運動をしました

12月13日（木） 支部長会
世界に一つだけ、オリジナルの正月用フラワーアレンジメントを作りました

1月 4日（金） 町成人式
約40人の成人の皆さんに、婦人会から湯楽里の入浴券をプレゼントしました

これから

2月10日（日） 青年団主催ミニサッカー大会
豚汁を提供します

2月15日（金） 交通安全母親大会＆モデル事業実践発表会
▶場所：県民交流館パレアホール

2月24日（日） 青年団と合同で清掃作業

3月 3日（日） 会員研修
日本遺産巡り ※たくさんの参加をお待ちしています

それぞれ世界に一つのフラワーアレンジメント

成人者には入浴券をプレゼント

App

スマホで広報湯前

アプリ「マチイロ」を使うと、スマートフォンでも広報湯前が読みやすくなります。下のQRコードからダウンロードして簡単な登録を済ませるだけです。

※アプリのダウンロードや登録は無料ですが、通信料は利用者の負担です
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に本町は一切責任を負いません

Front Page

今月の表紙

1月25日に湯前保育園で年長児の卒業を記念する親子陶芸教室が開かれました。亥年にちなんで、イノシシの焼き物を作成。園児が粘土を練って、親が形を微調整。また一つ、笑顔で親子の思い出を増やしていました。

編集後記

▼箱根駅伝に出場した太田黒選手を取材しました。写真撮影のために、湯前中学校に行くと、中学生たちが窓から顔を出し、太田黒選手に大きな声であいさつ。生徒の誘いもあり、取材後は陸上部に交じって練習していました。中学生には、地元のスターから、たくさんの刺激を受けて、さらに成長してほしいものですね。
▼お年玉や初売り。正月に散財した人も多いのではないでしょうか。そんな中、何よりも買ってよかったと思うのが、ウサギの「トイレ」。満足度100㌫。飼っているウサギがトイレのフタを開けなくなり、掃除が劇的に変わりました。たかが数百円、されど数百円。小銭ってありがたい…。
▼暖冬とは言うものの、暖房なしでは過ごせない毎日。エアコンよりも、何よりも我が家で活躍するのが「こたつホース」です。瞬く間に部屋もこたつも温かくなります。どうやら発祥は東北地方のよう。各地方でしか使っていない「お宝」がまだまだ眠っているのかもしれませんね。湯前にも何かありそうな予感がします。（広）

地域おこし協力隊's Diary 湯前「日誌」でリポート

非日常の湯前を感じませんか？

早春の湯前 郷あるきツアー

湯前町観光案内人協会の第２回ツアーを計画し、2月17日（日）に決定しました。里宮神社、豊永酒造や郷土料理のおもてなしを担当する山野草会の協力でステキな湯前案内ができそうです。車と歩きではガラッと変わります。いつもと違った湯前を感じてみませんか？

お問い合せ 観光案内人事務局 TEL080-5274-4000

第2回のツアーもおもてなしが満載

隠れた梅の名所

もう梅や桃の花が咲き始めているこの時期。昨年教えてもらった梅の隠れスポット。それは龍神ハナグリ石神社。桜もきれいですが、実はこの時期には梅の花が咲き誇ります。桜の前に梅めぐりはいかがでしょうか？ ※昨年の見頃は３月上旬〜中旬

ハナグリ神社の梅は見ごたえばつぐん

湯前の魅力が外へ広まっています

協力隊のゆのまえ暮らし（隊員がゆる〜く近況報告）

湯〜とぴあにある観光案内所によくいるのですが、最近、関東や東北など遠方からの観光客が増えきました。「田園シンフォニーに乗りたかった」「里宮神社に来てみたかった」などとよく言われます。人吉を訪れる海外の人もだんだんと上球磨に足を伸ばしています。さらに新しい湯前になりそうな2019年です。

リポーター
椎葉 賢也

Sport

小学生の「総合運動クラブ」、無料体験会
湯前さわやかクラブ『だんだん』

児童が放課後に体力・仲間づくりを行うためのクラブです。基礎体力（走る・跳ぶ・投げるなど）の向上や心の育成を目的としていますので、ぜひ参加してみませんか？

総合運動クラブ無料体験会

- 期　日：３月７日（木）・１４日（木）・２８日（木）
- 時　間：午後４時30分〜午後５時30分
- 会　場：湯前小学校体育館
- 内　容：スポーツ種目体験（バドミントン、バレー、バスケットボール、陸上など）
- 準備物：体操服・体育館シューズ
- 対象者：小学校３年生〜６年生（４月以降は４〜６年生）
- その他：４月以降はだんだんジュニア年会費（3000円）が必要です

やさしいストレッチ教室
（講師：平井景子さん、村山直さん）

- 開催日 ２月〜３月（毎月第１・２・３木曜日）
※祝日、施設使用状況などで休みになる場合もあります
- 時　間 午後７時30分〜午後８時30分
- 場　所 農村環境改善センター
- 内　容 ストレッチ、体成分分析、体力診断、ウオーキングなどの有酸素運動、筋力トレーニングなど
- 費　用 1シーズン 4800円
※だんだん会員は3000円

お問い合せ B&G海洋センター ℡0966－43－4555

広報湯前
活き活きと輝き、誇れる町の今をあなたに届ける
Public Relations Since1962.
2 Feb 2019 Vol.452

３年連続で箱根駅伝に出場

「感謝」で走り抜けた花の２区、日の丸目指して、次のステージへ

太田黒 卓（すぐる）さん（上武大学４年＝植木）

ランナーたちの夢の舞台。第95回箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）が１月２、３日に東京都から神奈川県箱根を往復する10区間217・1㌔で開かれ、太田黒卓さん（上武大４年＝植木）が３年連続で出場。エース区間の２区（23・1㌔）を走り抜けた。

太田黒選手は昨年の箱根駅伝後、主将に就任。最後の年にかける思いは強かった。毎月700㌔を目標にし、８月には950㌔と走り込みを徹底。練習に取り組む姿勢でチームを引っ張ってきた。「以前は箱根メンバーに選ばれるだけで満足する選手もいたが、全員でその先を見据えてきた。飛び抜けたエースはいないが、断然層が厚くなった」と強くなるために底上げを図った。

上武大は予選会からのスタート。予選会は昨年10月に開かれ、各大学10人のハーフマラソンの合計タイムで競われる。本選に出場できるのは49校のうち11校。15㌔地点を通過する太田黒選手の耳に「今、14位！」と情報が入る。直前まで座骨神経痛に苦しみ、体調は万全ではなかったが、箱根への強い思いと走りこんだ体を信じ、ギアをさらに上げた。457人のランナーが走る中、チームトップとなる36位。太田黒選手の活躍で上武大は11位となり、11年連続11回目の本選出場をつかみ取った。

外国人選手や強豪校のエースが集う、箱根駅伝の花の２区を走るのは自身２度目。20位でたすきを受け取り、70分19秒の区間18位でたすきをつないだ。「前と離れていたので、前半は自分のリズムで行き、後半ペースを上げたが、前半に落ち着き過ぎてしまった。練習の成果は出せたが、エースとしてチームを鼓舞する走りができなかった」。タイムは昨年より21秒縮めたが、悔しさをにじませた。

太田黒選手は大学を卒業後、八千代工業（埼玉県）に就職し、実業団ランナーとしての道を歩む。「怪我した私を支えてくれた人たちや苦楽をともにした仲間、いつも応援してくれる地元の人など、皆さんがいなかったら、２区のスタートラインには立てなかった。感謝の気持ちでいっぱい。走るときには一人かもしれないが、頼ることや仲間の大切さを知った４年間だった。トラックで結果を出して、マラソンに挑戦し、将来オリンピックで日の丸を背負って走れるようなランナーになりたい」。太田黒選手は感謝の気持ちを胸に、次のステージで挑戦を続ける。

平成31年２月１日発行第452号
発行／湯前町役場総務課 https://www.town.yunomae.lg.jp/ 〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1 TEL0966-43-4111 印刷／(有)ソーゴーグラフィックス